

# Ryukoku



RYUKOKU  
UNIVERSITY

## Lecture Series

### びわ湖の日滋賀県提携 龍谷講座

### 「びわ湖の楽しみ方」 オンライン・受講無料

「びわ湖の日（7月1日）」にちなみ、滋賀県と龍谷大学の提携による講座を3回行います。この機会に改めて、びわ湖と暮らしの関係性やびわ湖の価値を共に考えてみませんか。

日時・テーマ・講演者

**第1回 10月17日（月） 11:00～12:00**

「びわ湖がつなぐ。琵琶湖システムとは。」  
有田 高志（滋賀県農政水産部農政課 主幹）

**第2回 11月12日（土） 11:00～12:00**

「びわ湖で動く。ビワイチで楽しむスポーツ栄養学」  
石原 健吾（龍谷大学農学部 教授）

**第3回 12月3日（土） 11:00～12:30**

「びわ湖を紐解く。ーびわ湖を渡るモノ・人・文化ー」  
高田 満彦（龍谷大学社会学部 教授）

「びわ湖の日チャレンジ！みんなで水を汲んでどんな魚がいるか調べよう！」  
びわ湖100地点環境DNA調査の結果紹介（12:00～12:30）  
山中 裕樹（龍谷大学生物多様性科学研究センター長・先端理工学部 准教授）



受講のご案内

**開催方法** Zoomウェビナーによるライブ配信

※オンデマンド配信予定（ライブ配信1週間後から2週間程度）

**視聴方法** インターネットに接続されたスマートフォン、パソコン、タブレットなど

※Wi-Fi環境など、高速通信が可能な電波の良い所でご視聴ください。

**申込方法** こちらのサイトから。各回ごとにお申込みください。<受講無料>

<https://rec.seta.ryukoku.ac.jp/lifelong/lecture/biwako2022.html>

**定員** 各回100名<先着順>

（お申込み多数の場合、増員することがあります。）

**問合せ先** 龍谷エクステンションセンター（REC）滋賀

E-mail : [rec@ad.ryukoku.ac.jp](mailto:rec@ad.ryukoku.ac.jp) Tel : 077-543-7805



# 各 回 概 要

第1回 10月17日（月）11:00～12:00

「びわ湖がつなぐ。琵琶湖システムとは。」

有田 高志（滋賀県農政水産部農政課 主幹）

世界農業遺産に認定された琵琶湖システム。びわ湖と人との繋がりや農業を通じてびわ湖を楽しむ方法について考える講座。

第2回 11月12日（土）11:00～12:00

「びわ湖で動く。ビワイチで楽しむスポーツ栄養学」

石原 健吾（龍谷大学農学部食品栄養学科 教授）

11月3日が「ビワイチの日」となりました。ビワイチのような持久系スポーツは、年齢や性別、体力にかかわらず楽しめ、達成感を得ることができます。

「スポーツ栄養学」を専門とする講師から安全に持久系スポーツを楽しみ、体力を高めるための栄養について紹介します。

第3回 12月3日（土）11:00～12:00

「びわ湖を紐解く。ーびわ湖を渡るモノ・人・文化ー」

高田 満彦（龍谷大学社会学部社会学科 教授）

びわ湖は古来、モノや人などの「往来」に大きな役割を果たしてきました。それは物資や人といった有形のものだけではなく、「文化」等無形のもの往来も意味していました。これらは生活・生業等の「日常」であり、また娯楽・観光等の「非日常」でもありました。本講座では歴史という時間軸をもってびわ湖が果たしてきた役割を考え、その意義について紐解いていきます。

第3回-2 12月3日（土）12:00～12:30

「びわ湖の日チャレンジ！みんなで水を汲んでどんな魚がいるか調べよう！」

びわ湖100地点環境DNA調査の結果紹介

山中 裕樹（龍谷大学生物多様性科学研究センター長・先端理工学部環境生態工学課程 准教授）

昨年からは開始したびわ湖100地点調査の結果報告を行います。

今年は、8月、9月に市民、企業が参加し、びわ湖100地点の水を採取。その分析を10月から11月にかけて実施。

お申込みはこちらから。各回ごとにお申込みください。受講無料

<https://rec.seta.ryukoku.ac.jp/lifelong/lecture/biwako2022.html>

